

EHIME ROUSAI HOSPITAL KANGORU NEWS NURSE LETTER Month 10



「予測・予防型の安全対策」研修
～的体験学習～に参加して
N4 深川 由美



シリンジというと内筒と外筒、押し子ぐらいしか知りませんでした。今回各部位の名前や筒先の種類を知ることが出来ました。

いつもは業務終了後の研修では睡魔が襲いますが、理科の実験のようで楽しく、あっという間に時間が過ぎました。

シリンジは外的刺激で簡単に壊れてしまう事を知り、取り扱いには注意が必要だと実感しました。破損したシリンジではサイフォニング現象が生じ、非常に危険だという事も体験できました。

とにかく添付文章は熟読すべし！でした。

第十一回 日本医療情報学会
看護学術大会に参加してきました！
田中 紀子 看護師長

「医療・看護情報」と言っても広範囲です。ある病院では電子カルテシステムの導入で『ベッドサイド看護実践』と電子カルテを最大限活用して『患者のクエストに速やかに応えること』として取り組み患者の望む看護ケアの提供が出来た。また、組織全体が積極的な業務改善に取り組んだことでチーム医療の意識の向上に繋がり、組織横断的な活動が展開出来ている、と言われました。

自分たちが行っている業務を整理してベンダーに伝えることで、システムに振り回されないものを取り入れることが出来ることを考えたとき、今後電子カルテの導入時に慌てなくてよいように準備しておきましょう



日本看護学会 学術集会
～成人看護II～
もっと輝く！慢性看護の創造と未来
N4 松原 美紀

福岡国際会議場で2日間にわたって開催されました。特別講演、シンポジウム、市民公開講座、ランチョンセミナー、口演、示説と盛りだくさんでした。

高樹のぶ子さんの「アジアの人々」特別講演では各国を通して生命・女性という観点から写真を見ながらのお話でした。近い存在であるアジアであるのに知らないことばかりでした。看護だけでなく、多方面に目を向けることも必要だと感じました。

看護については10月の伝達講習にてお知らせします。

職場体験～中材見学の巻～

手術室 山根 千春

東中2年生女子3名を案内しました。器械洗浄から包装・滅菌・払い出しをして病棟から返却されるまでの行程や、自分たちの安全に注意しながら責任を持って清潔な器械を提供することの大切さを話しました。

鑷子の包装を実際にしてもらったときは不安そうでしたが、術衣を着て手袋をしたときはとても嬉しそうな笑顔で自ら手術器械を触っていました。

職場体験が良いきっかけとなって将来医療職を目指すのももちろんですが、「労災って素敵な病院よ」という若い子の口コミにも期待したいです。

